

3 まとめ

- 本調査では、全国の病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局に対してアンケート調査を行い、医療のIT化に伴い各医療機関・保険薬局が負担しているコスト「システム導入保守に係る費用」「施設内の人的資源の投下」を定量的に把握することができた。
- 特に「施設内の人的資源の投下」については、前年度調査結果においても、院内のスタッフがITシステムの導入・運用に関して何らかの関与を行い、相当程度の人的資源（人件費）を投下していることを把握していたが、本調査では、さらに人的資源の投下量の把握を試み、人件費へのコスト換算を行った。
- さらに、ITシステムの新規導入に伴うコストだけではなく、診療（調剤）報酬改定に伴う医事（調剤）業務支援システムの追加的な改修・組替費用や、レセプト電算処理へ対応に伴う追加的な改修費用、医薬品マスタ・材料マスタの購入費用等についても把握を行った。
- また、医療ITの導入効果についても、コスト・業務への影響について、医療機関側の評価を定量的に把握することができた。
- ただし、本調査の回答率が低調であったため、回答結果の代表性には充分留意する必要がある。今後、医療のIT化に係るコストについて政策に活用できるデータを得るためには、本調査結果を基礎として更なる調査を実施することが望まれる。

医療のIT化に係るコスト調査 (病院票)

貴施設名			
記入者氏名		部署	
連絡先	電話番号	市外局番	(内線)
	FAX番号	-	-
	E-Mail	@	

第1 基本情報

1 開設主体			(平成18年12月1日現在)
01 厚生労働省	02 独立行政法人国立病院機構	03 国立大学法人	
04 独立行政法人労働者健康福祉機構	05 その他国	06 都道府県	
07 市町村	08 日赤	09 済生会	
10 北海道社会事業協会	11 厚生連	12 国民健康保険団体連合会	
13 全国社会保険協会連合会	14 厚生年金事業振興団	15 船員保険会	
16 健康保険組合及びその連合会	17 共済組合	18 国民健康保険組合	
19 公益法人	20 医療法人	21 学校法人	
22 社会福祉法人	23 医療生協	24 会社	
25 その他の法人	26 個人		
2 病床・入院患者の状況			(平成18年12月1日現在)
病床種類	許可病床	入院患者数	
(1) 一般病床	床	人	
(2) 療養病床	床	人	
[再掲] 指定介護療養型医療施設	床	人	
(3) 精神病床	床	人	
[再掲] 指定介護療養型医療施設	床	人	
(4) 結核病床	床	人	
(5) 感染症病床	床	人	
合計	床	人	
3 外来診療等の状況			(平成18年11月1カ月間)
(1) 初診患者数	人		
(2) 再診患者延べ数	人		
4 職員の状況			(平成17年10月1日現在)
	常勤職員	非常勤職員	
(1) 医師	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(2) 歯科医師	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(3) 薬剤師	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(4) 看護職員	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(5) 看護補助職員	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(6) 医療技術員	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(7) 事務職員	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(8) 技能労務員・労務員	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
(9) 役員	人	人	[常勤換算・小数点第一位まで]
5 承認等の状況			(平成18年12月1日現在)
01 地域医療支援病院	02 特定機能病院	03 臨床研修病院	04 開放型病院
05 DPC対象病院	06 DPC準備病院	07 特定承認保険医療機関	
08 老人性痴呆疾患療養病床を有する病院	09 緩和ケア病床を有する病院		
10 日本医療機能評価機構による認定病院	11 国際標準規格 ISO 9000 (品質マネジメントシステム)		
12 医療情報システム開発センターによる個人情報保護に関するプライバシーマーク			

第4 I Tシステムの個別情報

I Tシステムの個別情報	システム導入期間 【単位：年度】						契約形態	契約期間	契約金額		
	1988以前	1989	1990	1991	1992	1993					
1 I Tシステムの個別情報	記入例							1 購入	※開始年度～終了年度 ※契約形態が「リース」の場合のみ記入	※購入の場合は「総額」 ※リースの場合は「年額」 ※単年度費用を算定して記入する場合は各年の下段に記入	
		(1) 電子カルテシステム						1 ② 3 4	2007年4月～2007年3月	200,000,000	
		(2) オーダリングシステム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)	
		各部門システム	看護業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			薬剤業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			手術業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			放射線業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			臨床検査業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			その他診療業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			医事業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			材料部業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			食事業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
			病歴管理業務支援システム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)
その他のシステム						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)			
システム運用・保守 [年額]						1 2 3 4	年 月～年 月	(備考)			

第2 収支情報

科 目		金 額				単 位	
(1) 医業収入	①入院収入					円	
	②特別の療養環境収入					円	
	③外来収入					円	
	④その他の医業収入					円	
	⑤合計 (①+②+③+④)					円	
(2) 介護収入	①合計					円	
(3) 医業及び介護費用	①合計					円	
	② (うち) 給与費 ※賞与を含む	医師					円
		歯科医師					円
		薬剤師					円
		看護職員					円
		看護補助職員					円
		医療技術員					円
		事務職員					円
		技能労務員・労務員					円
	役員					円	
③ (うち) システム関連費用					円		

第3 院内情報のI T化の概況

I T化の概況		01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
(1) 電子カルテシステム					
(2) オーダリングシステム					
(3) 各部門システム	看護業務支援システム				
	薬剤業務支援システム				
	手術業務支援システム				
	放射線業務支援システム				
	臨床検査業務支援システム				
	その他診療業務支援システム				
	医事業務支援システム				
	材料部業務支援システム				
	食事業務支援システム				
	病歴管理業務支援システム				
その他のシステム					

※いずれのI Tシステムについても「01 稼働中」が無い場合は、本調査票へのご記入はここまでで結構です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

2 システムベンダーの導入方式 (平成18年12月1日現在)	
01 シングルベンダー方式	02 マルチベンダー方式
3 院内の物流管理 (Supply Processing & Distribution ; SPD) の委託状況 (平成18年12月1日現在)	
① 医薬品	01 全面的に委託している ⇒委託金額 (年間 _____ 円)
	02 一部搬送業務等を委託している
	03 委託していない
② 医療材料	01 全面的に委託している ⇒委託金額 (年間 _____ 円)
	02 一部搬送業務等を委託している
	03 委託していない
4 経営コンサルティング業者への委託状況 (平成18年12月1日現在)	
01 委託している ⇒委託金額 (年間 _____ 円)	
02 委託していない	
5 平成18年度診療報酬改定に伴う医事業務支援システムの追加的な改修・組替費用	
01 追加的な改修・組替費用が発生した ⇒改修・組替費用 (_____ 円)	
02 追加的な改修・組替費用は発生しなかった	
6 レセプト電算処理 (電子媒体によるレセプトの提出) の実施状況 (平成18年12月1日現在)	
01 実施している	
02 実施していない	

以下の設問7・8は「レセプト電算処理を実施している」場合のみご記入ください。

7 レセプト電算処理への対応に伴う医事業務支援システムの追加的な改修費用	
01 追加的な改修費用が発生した ⇒改修費用 (_____ 円)	
02 追加的な改修費用は発生しなかった	
8 レセプト電算処理における医薬品マスタ・材料マスタの整備の状況	
01 事業者から購入している ⇒購入費用 (_____ 円)	
02 院内で整備・管理している	

第5 システム導入・運用に関する院内体制

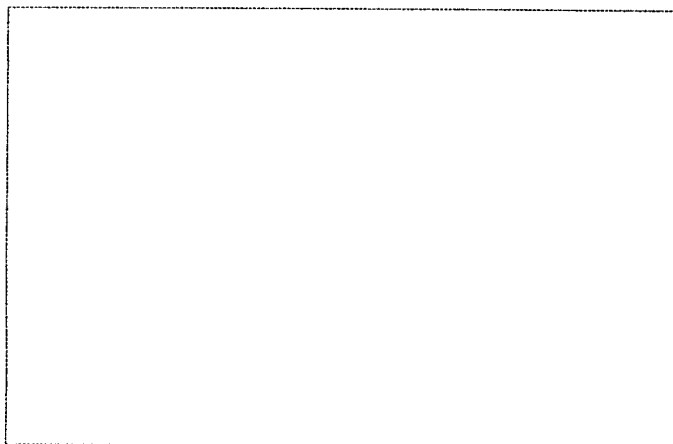
1 院内のシステム専管部署			
(1) システム専管部署の有無	01 有り	02 無し	
(2) システム専管部署所属職員	医師		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	歯科医師		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	薬剤師		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	看護職員		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	看護補助職員		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	医療技術員		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	事務職員		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	技能労務員・労務員		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
	役員		人 [常勤換算・小点数第一位まで]
(3) 年間人件費 (平成17年度)			円
2 システム運用等に関する院内検討委員会 (最上位の委員会)			
(1) 院内検討委員会の有無	01 有り	02 無し	
(2) 院内検討委員会の構成	医師		人
	歯科医師		人
	薬剤師		人
	看護職員		人
	看護補助職員		人
	医療技術員		人
	事務職員		人
	技能労務員・労務員		人
	役員		人
(3) 院内検討委員会の開催頻度	年 _____ 回	1回当たり平均 _____	時間 _____
3 システム運用等に関する分科会・ワーキンググループ			
(1) 分科会・ワーキング等の有無	01 有り	02 無し	
(2) 分科会・ワーキング等の構成	医師		人・回 [1年間あたり]
	歯科医師		人・回 [1年間あたり]
	薬剤師		人・回 [1年間あたり]
	看護職員		人・回 [1年間あたり]
	看護補助職員		人・回 [1年間あたり]
	医療技術員		人・回 [1年間あたり]
	事務職員		人・回 [1年間あたり]
	技能労務員・労務員		人・回 [1年間あたり]
	役員		人・回 [1年間あたり]
(3) 分科会等の1回当たり開催時間	1回当たり平均 _____	時間 _____	

※ (2) の記入例
 医師2人が参加する分科会Aが5回、医師3人が参加する分科会Bが4回開催された場合
 $2人 \times 5回 + 3人 \times 4回 = 22人 \cdot 回$ となり、
 医師22人・回と記入する

2 その他、IT導入に伴う変化についてご自由に記入下さい

本調査票の股間は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

医療のIT化に係るコスト調査 (有床診療所票)



貴施設名					
記入者氏名		部署			
連絡先	電話番号	市外局番	-	-	(内線)
	FAX番号		-	-	
	E-Mail				@

第1 基本情報

1 開設主体				(平成18年12月1日現在)			
01 個人		02 その他					
2 病床・入院患者の状況				(平成18年12月1日現在)			
病床種類		許可病床		在院患者数			
(1) 一般病床			床				人
(2) 療養病床			床				人
[再掲] 指定介護療養型医療施設			床				人
合計			床				人
3 外来診療等の状況				(平成18年11月1カ月間)			
(1) 初診患者数							人
(2) 再診患者延べ数							人

第2 収支情報

1 医療収入・介護収入・医療及び介護費用				(平成17年度分)			
科目		金額					
(1) 医療収入	①入院収入						円
	②外来収入						円
	③その他の医療収入						円
	④合計 (①+②+③)						円
(2) 介護収入	①合計						円
(3) 医療及び介護費用	①合計						円

第3 院内情報のIT化の概況

1 院内情報のIT化の概況					(平成18年12月1日現在)			
(1) 電子カルテシステム・オーダーリングシステム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし				
(2) 医事業務支援システム(レセコン等)	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし				

※いずれのITシステムについても「01 稼働中」が無い場合は、本調査票へのご記入はここまでで結構です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

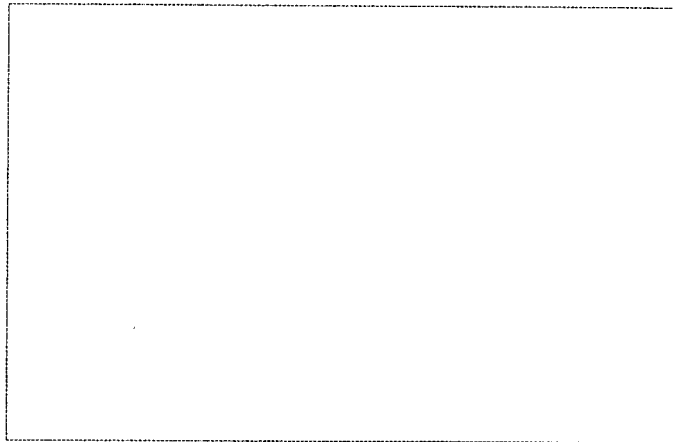
3 紙・フィルムに係るコストへの影響	
(1) 紙の使用量変化に伴うコスト増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> 円/年の(増加・減少) 02 無し 03 不明
(2) 紙の保管スペースの増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> m程度の(増加・減少) 02 無し 03 不明
(3) フィルム使用量変化に伴うコスト増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> 円/年の(増加・減少) 02 無し 03 不明
(4) フィルムの保管スペースの増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> m程度の(増加・減少) 02 無し 03 不明
4 システム導入による計画的な効果検証の実施の有無	
(1) システム導入の計画的な検証	01 有り 02 無し
以下(2)～(3)は計画的検証を実施した場合のみご記入ください。	
(2) システム化に伴うコストの増減	<input type="text"/> 円/年の(増加・減少)
(3) 効果検証方法等の内容	ご自由に記入下さい

第6 IT導入による変化

1 IT導入に伴う変化についての評価			
評価内容	そう思う	そう思わない	どちらでもない
① 比較可能なデータの蓄積と活用が可能になった	01	02	03
② 検査結果等を動画・静止画を用いて説明することで、患者にとって理解しやすい診療が可能になった	01	02	03
③ パソコンへの入力のため、診察の際に患者と話す時間が減った	01	02	03
④ 患者1人当たりの診察時間が長くなり、1日当たりの外来患者数が減った	01	02	03
⑤ 医療従事者間での情報共有が進み、チーム医療の実施が容易になった	01	02	03
⑥ 医療機関内・医療機関間における情報交換が容易になった	01	02	03
⑦ システムによる自動チェック機能等により、処方量の基準値オーバーや禁忌等のインシデント等が減少した	01	02	03
⑧ 医師の処方・指示の見読性が向上し、伝達ミスによるインシデント等が減少した	01	02	03
⑨ 正確な物流管理により在庫が適正化された	01	02	03
⑩ 診療報酬の請求事務が効率化された	01	02	03
⑪ 業務が効率化され残業時間が減り、人件費が削減された	01	02	03
⑫ システム障害のため業務に影響があった	01	02	03
2 その他、IT導入に伴う変化についてご自由に記入下さい			

本調査票の設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

医療のIT化に係るコスト調査 (無床診療所票)



貴施設名			
記入者氏名	部署		
連絡先	電話番号	市外局番	市外局番 (内線)
	FAX番号	-	-
	E-Mail		@

第1 基本情報

1 開設主体		(平成18年12月1日現在)	
01 個人	02 その他		
2 外来診療等の状況		(平成18年11月1カ月間)	
(1) 初診患者数		人	
(2) 再診患者延べ数		人	

第2 収支情報

1 医療収入・医療費用		(平成17年度分)			
科 目		金 額			
(1) 医療収入	①外来収入				円
	②その他の医療収入				円
	③合計 (①+②)				円
(2) 医療費用	①合計				円

第3 院内情報のIT化の概況

1 院内情報のIT化の概況		(平成18年12月1日現在)			
(1) 電子カルテシステム・オーダーリングシステム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし	
(2) 医事業務支援システム(レセコン等)	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし	

※いずれのITシステムについても「01 稼働中」が無い場合は、本調査票へのご記入はここまでで結構です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

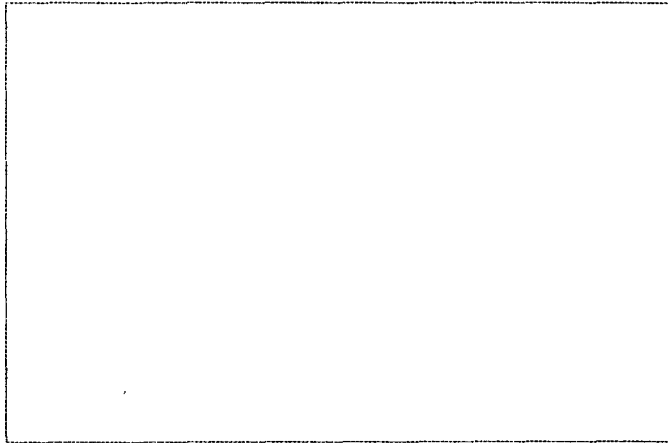
3 紙・フィルムに係るコストへの影響	
(1) 紙の使用量変化に伴うコスト増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> 円/年の(増加・減少) 02 無し 03 不明
(2) 紙の保管スペースの増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> m程度の(増加・減少) 02 無し 03 不明
(3) フィルム使用量変化に伴うコスト増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> 円/年の(増加・減少) 02 無し 03 不明
(4) フィルムの保管スペースの増減	01 有り ⇒ <input type="text"/> m程度の(増加・減少) 02 無し 03 不明
4 システム導入による計画的な効果検証の実施の有無	
(1) システム導入の計画的な検証	01 有り 02 無し
以下(2)～(3)は計画的検証を実施した場合のみご記入ください。	
(2) システム化に伴うコストの増減	<input type="text"/> 円/年の(増加・減少)
(3) 効果検証方法等の内容	ご自由に記入下さい

第6 IT導入による変化

1 IT導入に伴う変化についての評価			
評価内容	そう思う	そう思わない	どちらでもない
① 比較可能なデータの蓄積と活用が可能になった	01	02	03
② 検査結果等を動画・静止画を用いて説明することで、患者にとって理解しやすい診療が可能になった	01	02	03
③ パソコンへの入力のため、診察の際に患者と話す時間が減った	01	02	03
④ 患者1人当たりの診察時間が長くなり、1日当たりの外来患者数が減った	01	02	03
⑤ 医療従事者間での情報共有が進み、チーム医療の実施が容易になった	01	02	03
⑥ 医療機関内・医療機関間における情報交換が容易になった	01	02	03
⑦ システムによる自動チェック機能等により、処方量の基準値オーバーや禁忌等のインシデント等が減少した	01	02	03
⑧ 医師の処方・指示の見読性が向上し、伝達ミスによるインシデント等が減少した	01	02	03
⑨ 正確な物流管理により在庫が適正化された	01	02	03
⑩ 診療報酬の請求事務が効率化された	01	02	03
⑪ 業務が効率化され残業時間が減り、人件費が削減された	01	02	03
⑫ システム障害のため業務に影響があった	01	02	03
2. その他、IT導入に伴う変化についてご自由に記入下さい			

本調査票の取扱いは以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

医療のIT化に係るコスト調査 (歯科診療所票)



貴施設名			
記入者氏名		部署	
連絡先	電話番号	市外局番	- - (内線)
	FAX番号		- -
	E-Mail		@

第1 基本情報

1 開設主体		(平成18年12月1日現在)	
01 個人	02 その他		
2 外来診療等の状況		(平成18年11月1カ月間)	
(1) 初診患者数		人	/
(2) 再診患者延べ数		人	

第2 収支情報

1 医業収入・医業費用		(平成17年度分)	
	科 目	金 額	
(1) 医業収入	①外来収入		円
	②その他の医業収入		円
	合計(①+②)		円
(2) 医業費用	①合計		円

第3 院内情報のIT化の概況

1 院内情報のIT化の概況		(平成18年12月1日現在)			
(1) 電子カルテシステム・オーダーリングシステム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし	
(2) 医事業務支援システム(レセコン等)	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし	

※いずれのITシステムについても「01 稼働中」が無い場合は、本調査票へのご記入はここまでで結構です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

(3) 効果検証方法等の内容	ご自由に記入下さい
----------------	-----------

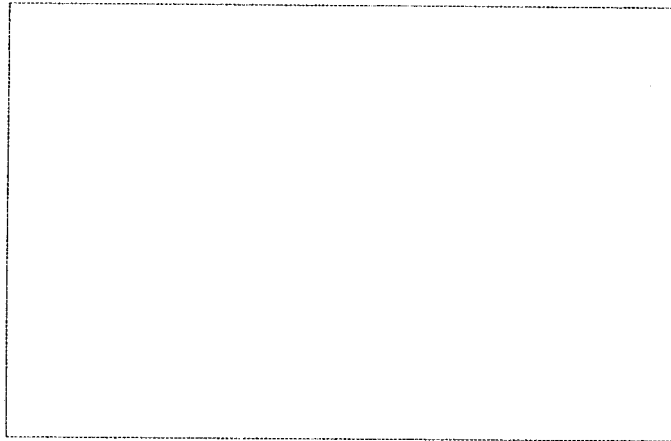
第6 IT導入による変化

1 IT導入に伴う変化についての評価			
評価内容	そ う 思 う	そ う 思 わ な い	ど ち ら で も な い
① 比較可能なデータの蓄積と活用が可能になった	01	02	03
② 検査結果等を動画・静止画を用いて説明することで、患者にとって理解しやすい診療が可能になった	01	02	03
③ パソコンへの入力診療の際に患者と話す時間が減った	01	02	03
④ 患者1人当たりの診察時間が長くなり、1日当たりの外来患者数が減った	01	02	03
⑤ 医療従事者間での情報共有が進み、チーム医療の実施が容易になった	01	02	03
⑥ 医療機関内・医療機関間における情報交換が容易になった	01	02	03
⑦ システムによる自動チェック機能等により、処方量の基準値オーバーや禁忌等のインシデント等が減少した	01	02	03
⑧ 医師の処方・指示の見誤性が向上し、伝達ミスによるインシデント等が減少した	01	02	03
⑨ 正確な物流管理により在庫が適正化された	01	02	03
⑩ 診療報酬の請求事務が効率化された	01	02	03
⑪ 業務が効率化され残業時間が減り、人件費が削減された	01	02	03
⑫ システム障害のため業務に影響があった	01	02	03
2 その他、IT導入に伴う変化についてご自由に記入下さい			

本調査票の設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

医療のIT化に係るコスト調査 (保険薬局票)



貴 施 設 名			
記 入 者 氏 名	部署		
連絡先	電話番号	市外局番	市外局番 (内線)
	FAX番号	-	-
	E-Mail		@

第1 基本情報

1 開設主体		(平成18年12月1日現在)
01 法人 →同一法人内の店舗数 (_____ 店舗) 02 個人		
2 処方せんの受付状況		(平成18年11月1カ月間)
(1) 処方せん枚数		枚
(2) 調剤報酬明細書件数		件

第2 収支情報

1 収入・費用		(平成17年度分)
科 目	金 額	
(1) 収 入 合 計		円
(2) 費 用 合 計		円

第3 薬局内情報のIT化の概況

1 薬局内情報のIT化の概況		(平成18年12月1日現在)		
(1) 電子薬歴システム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
(2) 在庫管理システム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
(3) レセプト電算処理システム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
(4) インターネットによる医薬品情報の閲覧システム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし
(5) その他の調剤業務支援システム	01 稼働中	02 開発中	03 計画中	04 計画なし

※いずれのITシステムについても「01 稼働中」が無い場合は、本調査票へのご記入はここまでで結構です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

4 システム導入による計画的な効果検証の実施の有無	
(1) システム導入の計画的な検証	01 有り 02 無し
以下(2)～(3)は計画的検証を実施した場合のみご記入ください。	
(2) システム化に伴うコストの増減	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 円/年の(増加・減少)
(3) 効果検証方法等の内容	ご自由に記入下さい

2 その他、IT導入に伴う変化についてご自由に記入下さい

第6 IT導入による変化

1 IT導入に伴う変化についての評価			
評価内容	そう思う	そう思わない	どちらでもない
① 比較可能なデータの蓄積と活用が可能になった	01	02	03
② システムによる自動チェック機能等により、処方量の基準値オーバーや禁忌等のインシデント等が減少した	01	02	03
③ ワークシート等の見読性が高まり、伝達ミス等によるインシデント等が減少した	01	02	03
④ 薬歴簿等の電子化により、紙等の消耗品の使用量が削減された	01	02	03
⑤ 正確な物流管理により在庫が適正化された	01	02	03
⑥ 会計のミスが減少した	01	02	03
⑦ 診療報酬の請求事務が効率化された	01	02	03
⑧ 業務が効率化され残業時間が減り、人件費が削減された	01	02	03
⑨ システム障害のため業務に影響があった	01	02	03

本調査票の設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
2007年1月31日(水)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。